

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障害当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

バリアフリー
ペーパー

12月号

平成21年12月22日発行

偶数月発行



今年も残りわずかになったなあと振り返る時期になりました。世相を表す漢字として「新」が選ばれた2009年は、みなさんにとってどのような1年だったでしょうか。

12月12日（土）の「西条市福祉大会」では、落語家の三笑亭夢之助さんをお招きし、「健康は笑いから～人生は面白く、そして楽しく～」と題した記念講演が行われました。一緒に笑う中で、こころが穏やかになり元気になっていくのを感じました。

気持ちの持ち様やちょっとした心がけで、今ある生活や人との関係が豊かで楽しいものになるかもしれませんね。笑いのある幸せな1年になるといいですね。

（支援センター青野）



教える人も教わる人も障害者という、ちょっと変わったパソコン講座。今年で2回目となりましたが、最終日10月23日をもって、無事終了となりました。受講して下さったみなさんに支えられて、楽しく進められたことは、すごく励みになり、足かけ3か月全8回は、あっという間に終わったようにも思えます。「オンリーワン」のメンバーも全員が講師を担当しました。普段の活動は、主に機関紙の発行なので、特に講師のための練習とかなく、ぶつけ本番でしたが、無事に終わってホッとした面もあります。(笑)

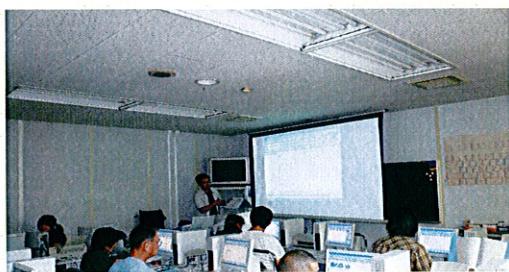
教える人も教わる人も障害者

パソコン講師に挑戦！！



…わかりやすく説明するために…

僕は、ラスト2回の講師を担当しました。原稿や資料などは、実際は直前まで作成していました。短い時間で何を話すのがベストなのかは、思いのほか悩みました。僕は精神障害で体が動くので、黒板を多用してみましたが、これは楽しかつたです。その瞬間に思いついたことでも、大勢の人に伝える手段としては、最高だと思いました。ちょうど学校に「電子黒板」を入れるとかニュースで聞きますが、「電子」でないほうが面白みがあると思ったらしく、難しい理論を、いかにわかりやすく説明するかという面では、僕自身も勉強になりました。何より、あの教室にいた全員の雰囲気は、すごく良かったと思います。



講習会の様子(中央公民館)



…講座をきっかけに…

この入門講座をきっかけに、自分の「知りたいこと」「やりたいこと」の方向性が見出せたら、やって良かったと思えます。講座の期間中にインターネット回線を引いた方もいたそうで、少しでも背中を押せたのかな?と喜んでいます。では、また来年も頑張りますので、よろしくお願いします。

(大岩)

当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

今回は、「こまつ福祉作業所」に通所している利用者の方が、10月に開催された「トキめき新潟大会」(第9回障害者スポーツ大会)で、銅メダル獲得との朗報を聞き取材しました♪



水の都に若鮎のようなアスリート誕生！銅メダル獲得！！

水泳自由形25メートル・50メートルで二つの銅メダルを獲得した深川知則君と、
陸上50メートル・100メートルで入賞した鈴鹿夏未さんに喜びの感想を聞きました。

「こまつ福祉作業所」を訪ねた時、初めて出会った元気な青年が深川知則君でした。メダル獲得の感動を聞いたところ、目を輝かせ得意そうに「2つもメダル取ったよ！」と、メダルを見せてくれました。彼は小学生の頃からスイミングスクールに通い、「とにかく運動が好きでその中でも水泳が一番好きです。」と答えてくれました。「これからも挑戦していきますか？」の問いに「一度メダルを獲得したら、3年間は出場出来ない事になっているから、これからの期間がまた次の挑戦になります。だから作業所まで自転車で50分かかるけど、頑張って通所しています。」と自主トレの一部を聞かせてくれました。ご家族の希望も「何でも挑戦させてあげたい。その為には協力を惜しまない。」とのことでした。その願いに知則君は見事に答えたのだと感動しました。

隣でこの取材をニコニコしながら聞いていた可愛い娘さんが鈴鹿夏未さんでした。彼女も同じ大会に出場して陸上で好成績を残しました。残念ながらメダルには届かなかつたけれど、それ以上の貴重な経験と感動を得たことと思います。2人にツーショットの撮影をお願いしたら、夏未さんが「私にもメダル貸して～」と知則君にお願いし、「ウン良いよ！」と気持ちよくメダルを掲げてポーズをとってくれました。本当に素直な2人のやり取りに私達まで爽やかな気持ちになりました。



メダルを持ってニッコリ！知則君と夏未さん

スポーツをとおして障害のある方がどんどん表に出て、挑戦していくことが本当の「社会参加」だと思いました。この貴重な体験は、2人にとって、大きな自信につながると思います。2人の大きな成長は、応援者である作業所の支援員の方々や、ご家族の惜しみない努力があった事を、決して知則君と夏未さんは忘れない事思います。

知則君、夏未さん、本当におめでとう～！ 心より拍手喝采です！！

こまつ福祉作業所を訪ねて♪

小松駅の前にある小松駅前センター2Fのこまつ福祉作業所を訪問しました。温かな日差しがさんさんと降り注ぐ大きな窓と、ゆったりとした空気、そして、何より、出迎えてくれた支援員の篠塚さんの笑顔がまるで「和製モナリザの微笑」のようで、一気に緊張がほぐれました。

男性支援員の田中さんに、設立の経緯や作業所のこれから目標などを色々お聞きしました。現在11名の方が通所されており、作業内容は、室内では「ホルダー」と呼ばれる冷蔵庫のパッキンのリサイクル、屋外では250本の柿渋を管理し、剪定や収穫等をし、バザーで販売をしているそうです。

今後は、国安の和紙と丹原の柿渋を使用した「渋うちわ」制作やネット販売にも力をいれてていきたいと思っているそうです。



冷蔵庫パッキン(ホルダー)のリサイクル作業



国安の和紙と丹原の柿渋を使用した渋うちわ

また、第2火曜日はスポーツの日（小松運動公園）、第4木曜日は編み物教室（小松公民館）、新居浜市のイオン等で買い物の実習にも力を入れているそうです。

その他にも、小松小学校の皆さんと小松駅前の花壇の花と一緒に植えたり、地域の方との交流も大切にされていることです。「今後も地域との密着を目指して色々な活動をしていきたいと思います。」と希望に満ちた言葉を聞く事が出来ました。

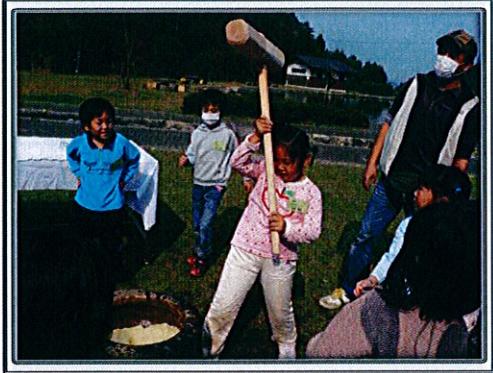
こまつ福祉作業所の優しい雰囲気は最高でした。また、日々新しい活動に取り組もうと努力されている姿に頭が下がります。これからも頑張って下さいね～！

私達オーナーワンメンバーも障害を持たれる方が一人でも多く、自分に出来る事に挑戦していく、強い信念を持って欲しいと願っています。（梅野）





のぶちゃん・おーちゃんのべすとしょっと



「御接待」

西条市のみなさまにはお馴染みの、西山興隆寺の甘酒の無料御接待。JA周桑が運営する売店にあります。この甘酒を求めて、紅葉狩りに来る人も多いと思います。地元市民だけでなく、遠方からのお客さんも多いそうです。あるテレビ局では、紅葉情報を流していますが、その中に西山興隆寺も入っていました。西条市の観光の目玉として、これからも御接待が続くことを願います。(^^ゞ 撮影：おーちゃん

「餅つき体験」

1月8日に、朝倉ダム近辺で行われたイベントでの1枚です。正式名称は、「竜門の里 浅地・黒谷 農村体験」。愛媛県農地整備課が主催した、棚田を考えるイベントです。100人を超える参加者で賑わいました。餅つき体験では、大きな杵を力いっぱい振り上げる子供の真剣な表情が、とても印象に残りました。「大声コンテスト」などもあり、楽しい1日となりました。

撮影：のぶちゃん

編集後記

メジャーリーガーの城島選手が日本の阪神球団に入団することが決まりました。熱烈な巨人ファンの僕ですが、これで伝統の巨人阪神戦も大いに盛り上がるでしょうね。来シーズンが楽しみです。ところで、先日行われた精神障害者のバレー県大会では、残念ながら1勝も出来ずに予選リーグで敗退てしまいました。今後、チームがどのように進化していくのかも、ひとつの課題です。また、この機関紙もどれだけの人に楽しく読んでもらうか、作成メンバーの腕が問われます。頑張らねば！（ひろやん）

障害者相談支援センターからのお知らせ！

◆ 「発達障害者支援セミナー」のご案内 ◆

「安心して暮らせる地域をつくるために」と題し、のらねこ学かんの館長としてパワフルに活躍されている塩見志満子先生ほか、西条市で発達障害者の支援に携わる方々をお招きセミナーを行います。

* 日時 * 2月6日(土) 13時～16時30分

* 場所 * 東予地方局 7階大会議室

* 費用 * 無料

* 主催 * 愛媛県(東予地方局・発達障害者支援センター「あい♥ゆう」)・西条市障害者相談支援センター

* 参加ご希望の方は、障害者相談支援センターまでお申し込み下さい。



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）
編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606番地1 西条市東予総合福祉センター内

T E L : 0898-64-2600 (代) F A X : 0898-64-3920 E-mail : soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp